



佐賀県立男女共同参画センター
佐賀県立生涯学習センター

☎ 0952-26-0011

📍 交通アクセス

✉ お問い合わせ

男女共同参画センター

生涯学習センター

DV総合対策センター

相談する

図書を借りる

視聴覚機材や
PCを借りる

ホールや研修室を
借りる

[トップページ](#) > [生涯学習センター](#) > [講座レポート](#) > 28年度>課題解決支援講座>平成28年度 課題解決支援講座（吉野ヶ里町）を開催しました

平成28年度 課題解決支援講座（吉野ヶ里町）を開催しました

● 課題解決支援講座

佐賀県立生涯学習センターでは、市町・公民館との共同企画で、地域課題の解決に向けて取り組む講座を開催しています。

【平成28年度は佐賀市、唐津市、吉野ヶ里町の3地域と共催】

吉野ヶ里町 × 東脊振公民館との共催で、

「防災」～話していますか？もしものときのこと～ [全4回]を開催しました！



松隈地区・坂本地区・永山地区にお住まいの方を対象に、楽しく学べる防災講座を開催しました。

この地域は、吉野ヶ里町の山間地域にあり、田手川に隣接しているため、土砂災害警戒区域や浸水害区域が点在するなど、大雨や地震等による災害発生が危ぶまれる場所が多い地域です。

また、地区内の高齢化率も40%を超え、公共の施設や商業施設等も徒歩圏内に無いことから、“もしもの時がくる前”に、自分の備え、地域の備えについて「学べる」「語れる」講座を坂本地区公民館を会場に開催しました。

講座の様子を「ぼうさい君通信」にまとめました。どうぞ、ご覧ください。

「防災」 ～話していますか？もしもの時のこと～

Vol. 01



ぼうさい君通信



第1回(10/27)の様子

第1回『防災ゲームで学ぼう』
～災害対応を疑似体験～
を開催しました。

楽しく学ぶ「防災」講座の4回シリーズがスタートしました。
まずは、コーディネーターの天野英樹さんから、阪神淡路大震災の被害状況や山間地での土砂災害の状況などをお話いただき、災害の恐ろしさを知りました。

その後は、「もしも災害が起こったら!! その時あなたはど
うする?」ということで「防災ゲーム（クロスロード）」を
体験しました。クロスロードは、災害対応のジレンマをカード
ゲームにしたものです。「イエス」「ノー」で答え、なぜ、
そのカードを選んだのかも話します。このようなゲームをす
ることで、突発的な出来事への対応を自らのこととして考え
たり、多様な人の価値感を共有できます。みなさん、体験さ
れていかがでしたか? 日頃から、災害に備えましょう。



参加者の声（アンケートより）

・この地区での防災対策、特に一人住まいの老人の救助をどうすべきか考える機会になりました。

・ゲーム体験で色々な考え方があることを知りました。防災のことが身近に感じられ、日ごろの準備が必要だと思いました。

・自分の考えが正しいということではなく、自分が置かれている立場で様々な答えが出て来たことに驚きました。今日は講座の中だったので冷静な答えが出せたけど、もし災害時のときだったら? 今日のクロスロードゲームは参考になりました。

・家の横が田手川なので、大雨時の災害のことを再度考えることができました。

・クロスロードを通して活発に意見交換ができました。

・平日の午前中だったので若い人の参加が少なかったのが残念でした。この地区に住んでいるからこそ防災に対して、もっと考えなくてはと思いました。



第1回のポイント!

- ・災害を自らのこととして考えよう
- ・避難場所は家族で共有しよう
- ・災害によって避難場所を決めよう
- ・避難経路を確認しよう
- ・日頃の備えが大事! 段取り八分

防災ドリル

災害時の停電に備えてあると便利な照明器具は?

被災時は両手を空けておくことが大切。

実は懐中電灯よりも、両手が空くヘッドライトが断然便利! 停電の間、暗闇の中で片付けをしたり、荷物を運んだりすることもあります。そんな時ヘッドライトを付けていれば、両手をフルに使うことができます。室内照明には、より照射範囲が広いLEDランタンがおすすめ。(NHK「備える防災」HPより抜粋)

東青根公民館×吉野ヶ里町教育委員会社会教育課×佐賀県立生涯学習センター（アバンセ） 共同企画

「防災」 ～話していますか？もしもの時のこと～

Vol. 02



ぼうさい君通信



第2回(11/17)の様子

第2回『被災体験談に学ぶ』
～熊本地震の教訓から～

楽しく学ぶ「防災」講座の第2回を開催しました。

まずは、天野さんのコーディネートにより参加者同士でワイワイ賑やかに前回は振り返りました。そして、「今、災害に備え準備している物リスト」を各々で作成。皆さん、ポータブルラジオや懐中電灯など日常生活にも使用でき、非常時にも役立つものを準備されていました。

その後は、佐賀県防災士会の西直人さんより、熊本地震の被災体験談と防災士会の活動状況をお話いただきました。西さんは、益城町での支援中、車の中で就寝されている時に本震を体験されました。車はロデオのように宙を舞ったそうです。実体験に基づく地震の恐ろしさと、役立つ備えについて学びました。また、防災士会小林さんからは、女性ならではの視点で、非常時の備えについてお話いただきました。

最後に、「今、災害が起こったら、どんな物を持ち出しますかリスト」を作成。講座で学んだことを踏まえて、改めてリストを作成しました。皆さん、もしもの時に備えましょう!

車中泊の時にいつも聞いているラジオ! 災害時にも使えるね。



スマホの緊急地震速報が鳴ったら...
まずは、今いる場所の安全確認を!



参加者の声（アンケートより）

・突発的な事態に“さて対応できるのか”を考えさせられた。

・災害に備えて準備している物リストを書き出していた時に、ゲストのお話の中で、実際に地震が起きて避難所に行くか、自宅で避難するのかによって準備する物が変わってくることを知り、参考になりました。

・色々な方と話し合っ、自分が考えていなかったことを教えてもらったり、気づきをもらった。

・日頃から準備しておく品物等について、改めて確認。非常持出バックの用意をしておく。

・簡易トイレの準備の重要性

・災害が起こる時間帯により、対応の仕方が難しいのと、家の中の1階が良いのか2階が良いのか判断が難しい。

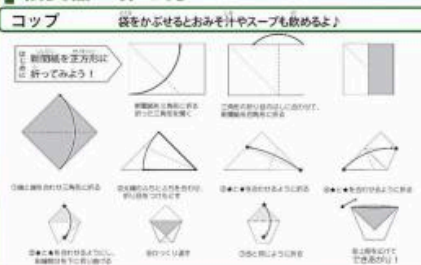
ゲストが日頃から携帯しているミニ懐中電灯のホイッスル
※100円で購入します☆



第2回のポイント!

- ・まずは自分の命を第一に!
自分の命が守れなければ家族も地域も守れません。
- ・安心して排泄できる準備を。
食べたら出る! 「トイレ」は我慢できません。
- ・あなたに必要な物で**借りられない物**を**非常持出袋**に! (薬やメガネ、入歯など)

紙食器の作り方 (制作: NPO法人プラス・アーツ)



東青根公民館×吉野ヶ里町教育委員会社会教育課×佐賀県立生涯学習センター（アバンセ） 共同企画

「防災」 ～話していますか？もしもの時のこと～

Vol. 03

ぼうさい君通信



第3回(12/18)の様子

第3回『わが町点検！』～まち歩き～

楽しく学ぶ「防災」講座の第3回を開催しました。

今回は、日曜日開催ということもあり、今までご参加いただけなかった方の参加も多数。幅広い世代が集まったの回になりました。

まずは、第1回、2回で学んだことをグループで振り返り、「まち歩き」のポイントや確認する視点について、コーディネーターの天野さんより説明していただきました。また、永山地区での土砂災害を間近で見られた参加者の方々から、災害状況や被災された際の生の声をお聞きし、災害の恐ろしさを再認識しました。

その後、いよいよ「まち歩き」へ。松隈コースと坂本コースに分かれ、地域を点検しながら歩きました。公民館に戻ってからは、歩いて集めた地域の状況を地図に落とし込みました。吉野ヶ里町で備蓄されている防災食や皆さんに持ち寄っていただいた常備食を食べながら、「安全なところのなかった～」 「もしもの時は、〇〇さん家の畑ぐらいまで下りらんば」とまち歩きの感想を共有しました。次回の講座終了後に、地図作りの続きを行います。ぜひ皆さんも、ご参加ください。



参加者の声（アンケートより）

- ・あらためて集落の視察を行ってみてあぶない箇所が多く、逃げ場がないのがこわい。
- ・普段、気にしていなかった地域を別の視点で見て、いろいろと気づくことができた。
- ・地元の方々と交流できて良かった。
- ・防災食があることを初めて知った。
- ・いざとなるとどこに逃げていいのかわからないので、安全な場所が分かっていると逃げやすい。
- ・部落内を歩くということが無かったので、改めて危険箇所の発見ができた。
- ・誰もが自動車を運転して自由に逃げられるというわけではないので、山間部にも避難所が欲しいという意見が印象に残った。
- ・自分の身は自分で守る。

第3回のポイント！

- ・地域の「危険なところ」「安全なところ」「役立ちそうなところ」「気になるところ」を点検！もしもの時に役立てましょう。

- ・「わが町の防災地図」で情報を共有！講座に参加できなかった人との情報共有も大切。

家族一人ひとりに合わせた準備を！



災害時の食には、「防災食（熱や水を使わずに食べられるもの）」と「常備食品（缶詰やレトルト食品、常温で保存できる野菜等）」があります。家族の中には、乳児や高齢者、高血圧、アレルギーをお持ちの方など、家族構成は様々。家族に合った準備が大事。

歩いてみて、再認識。
安全な場所がない?!

お持ちいただいた「ラッキョウの酢漬け」や「フキの佃煮」が、家族に準備しておくと、慣れた味で非常時にも安心。

東脊振公民館×吉野ヶ里町教育委員会社会教育課×佐賀県立生涯学習センター（アバンセ） 共同企画

平成28年12月18日（日） 快晴 「わが町点検！」～まち歩き～
コースごとに「グループ分け」



「まち点検」スタート



わが町の「防災地図」を作成



「気づき」を共有！



「防災」～話していますか？もしもの時のこと～

Vol. 04

ぼうさい君通信

第4回(1/19)の様子

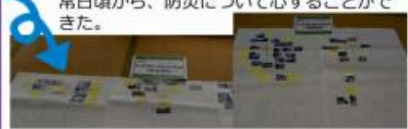
第4回『おしゃべり茶の間』
～みんなの防災計画をつくろう～

楽しく学ぶ「防災」講座の第4回（最終回）を開催しました。
まずは、今まで学んだことを、コーディネーターの天野さんと一緒に振り返りました。そして、講座に参加して気づいたことや感じたことから、「我が家の防災3ヶ条」を作成しました。
“(もしもの時のために)健康である”、“家族で防災について話し合う”、“家族の持病の薬を持ち歩く”、“車の中に非常時の準備をしておく(水・毛布…)”など、様々な「防災3ヶ条」ができました。
防災の備えは、家族構成や状況に応じて異なり、また、変化していきます。その時、その人に合った防災の備えが大切です。
そのためには、
**ご家族と、ご近所さんと
もしもの時のことを話しましょう！**
皆さま、
ご参加ありがとうございました。



参加者の声（アンケートより）

- ・ 家具の配置を見直しました。今まで防災について、家族で話し合いをしたことがなかったけど、全4回の講座で防災について考えさせられました。防災食にも関心ができました。
- ・ 講座に参加してから、防災用グッズを調べたりして、少しずつ用意した（懐中電灯、飲料水、インスタント食品）
- ・ 娘と二人で、食べ物、避難場所、持出袋など、色々話し合うきっかけになった。
- ・ 改めて災害の怖さと準備の必要性を感じた。
- ・ 各家族の防災3ヶ条を考えることができた。常日頃から、防災について心ずることができた。



第4回のポイント！

- ・ **防災の備えは、自分で考え、自分で備えましょう。**
防災は、人それぞれ。あなた（家族・地域）に必要なものを備えることが大切。
- ・ **「防災3ヶ条」は、進行形。**
あなたを取り巻く状況に応じて見直しが必要。

講座終了後にみんなでバチリ！



東脊振公民館×吉野ヶ里町教育委員会社会教育課×佐賀県立生涯学習センター（アバンセ） 共同企画

↓↓PDFデータはこちらです↓↓

 [講座チラシ【全体】\(627KB; PDFファイル\)](#) [講座チラシ【第3回&第4回】\(700KB; PDFファイル\)](#) [「ぼうさい君通信」（講座レポート）\(2192KB; PDFファイル\)](#)

講座を終えて

事前研修を終えてから、コーディネーターの天野英樹さん、東脊振公民館、アバンセで講座企画をスタートしました。

3者で、「学びながら語れる場」を大切に企画を行い、吉野ヶ里町の防災担当課にもご協力いただき、吉野ヶ里町の「防災講座」ができました。



4回の講座を終えて、コーディネーター・スタッフで講座をふりかえりました。

- ・ 地域の人が語れる場って大切。
- ・ 地域の人から、地域の情報（山津波や土砂災害の話、家族のこと など）を教えてもらった。

- ・世代間の交流ができた。
- ・会場の雰囲気づくりの大切さ。

など、多くの気づきや感想が寄せられました。

会場をご提供いただいた坂本地区のみまさま、保存食を持ち寄っていただいたみなさま、講座にご参加いただいたみなさま、まち歩きにご参加いただいた消防団のみなさま 等々、いろんな人のおかげで講座を開催することができました。地域のつながりの大切さを改めて実感できた講座でした。

これからも、吉野ヶ里町の防災への取り組みは続きます。
新たなステップに向けてスタートです！

[戻る](#)

[アバンセとは](#) | [リンク集](#) | [公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団](#)



TEL : 0952-26-0011
FAX : 0952-25-5591

〒840-0815
佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんの森内)

- 交通アクセス
- お問い合わせ

開館時間

火曜～土曜日：8時30分～22時00分
日曜・祝日：8時30分～17時00分
(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日（祝日も含む）
12月29日から翌年1月3日まで

館内フロアマップ >>

施設利用の手続き >>

利用料金表 >>

施設利用Q&A >>

